

# 2004年 新春 いっすい

## Hot-line ISSUI



### 参議院議員 三浦一水レポート

発行人 / 自由民主党熊本県参議院選挙区第三支部

支部長 参議院議員 三浦一水

発行日 / 平成16年1月1日

熊本事務所 / 〒862-0951 熊本県熊本市上水前寺2-40-6

TEL(096)382-3737 FAX(096)382-4300

熊本事務所 / 〒862-0951 熊本県山鹿市津留2222

TEL(0968)43-0031 FAX(0968)43-0038

議員会館 / 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-4

TEL(03)3508-8721 FAX(03)5512-2721

ホームページアドレス <http://www.miuraisui.com>

Eメールアドレス [issui\\_miura@sangi.in.go.jp](mailto:issui_miura@sangi.in.go.jp)



### 『月刊官界』掲載写真(左)とインタビュー記事

天津南開大学の中国文学科で学びソニーへ入社。ASEAN及び香港、中国のマーケティングを担当し、後県議、そして参院議員になった変わりダネ。政治家らしからぬ物静かなスタイルが印象的。今国会では農水委員長として食の安全、食料基本法、食品安全委員会設置など、数多くの難題に取り組んできた。

自らのライフワークを国家の基本の再構築と言い切る。「戦後六十年経って、今こそ国の基本を議論し、整理するチャンス。有事法制も成立し、今後は教育基本法を作り上げなければならない。憲法問題も含め、整理の時代に自分も参画していきたい」と豊富を語る。そして、「この課題を果敢に押し進められる、立派なリーダーを育てていきたい。そのためには自分は黒子に徹してもいい」と言い切る。熱い思いを抑制の利いた口調で述べていく。

ちょっと珍しい名前の「一水」は今は亡き父親がつけてくれたもの。「仏典から引用したそうです。両親二人ともプロテスタントなんですけれども」と人懐っこい笑顔で答えてくれた。

## ご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

寒さ厳しい日々、皆様方にはお健やかに過ごしのことと拝察いたします。

さて、本年は参議院選挙の年であります。皆様方のご支援により、三年前に参議院議員として二期目の当選をさせていただきましたが、早いもので折り返しの時期を迎えます。この場をお借りして、これまでに賜りました皆様方のご厚情に対しまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、中国で発生し世界的に猛威を振るった新型肺炎SARSにはじまり、表面化した隣国北朝鮮による核開発の問題、そして続発するイラク国内テロによる日本人大使館員の犠牲と、国家としての危機管理のあり方が問われる年でした。

そのような中で、国政の場におきましては、経済、外交、防衛などの山積する重要な課題に対処するため、予算の年度内成立をはじめ、武力攻撃事態対処関連三法、産業再生法、雇用基本法、イラク復興支援特別措置法などの成立をみました。

私が委員長を務めました農林水産委員会では、国民生活の基本である「食の安全」を確保するための諸法律案を成立させることができ、委員長としての職責を無事果たせたと安堵しておりますが、食の問題も、セーフティーとセキュリティーの両面から考えなければなりません。体制整備もまた第一弾であり、一層の信頼回復に向けた施策に取り組む所存です。

また、先の総選挙で我が自由民主党は、引き続き責任政党として政権を担当し、途上にある改革を完遂する任をお与えいただきました。このような中、今こそ私のライフワークでもある「国家の基本の再構築」を論議し整理するチャンスであると思っております。長年の懸案であった有事法制も成立し、今後は新しい時代に対応した教育基本法を創り上げていかなければなりません。憲法問題も含め、改革の時代に自らも積極的に参画してまいります。

同時に、一般会計における歳入不足が四十兆円にもなるという異常事態が続く中で、公共事業費の削減をはじめ、保険・医療分野での国民の痛みの増大など、国民として最低限必要な生存権の保障(ナショナルミニマム)が歪められており、消費税議論も含めた、給付と負担のあるべき姿の抜本改革が急務と考えております。

そして先行き不透明なWTO農業交渉に関しましては、私も昨年九月にメキシコ・カンクンで開催された閣僚会議に参加いたしました。国十保全など農業の持つ多面的機能を強調し、多様な各国の農業が共存できるように、米国などが主張する関税などの一律削減を阻止するとともに、国際化にも対応できる足腰の強い農林水産業を実現するための施策を一層強力に推進してまいります。

最後になりましたが、皆様方からのご意見・ご要望を真摯に受け止め、精一杯国政に反映させていただきますので、今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

参議院議員 三浦 一水



# 2003年 1月～12月 【活動の軌跡】



5月27日 上京されていた熊本市保育連盟の皆様との懇談会。幼保一元化、保育所運営費の一般財源化など、参加者皆様と一緒に解決すべき問題が山積する中でも、この時ばかりは楽しいひとときを共有させていただく。

< ホテルニューオータニ >



5月3日 忙中閑あり。恒例となった横島町青年部の皆様と事務所合同での潮干狩り。天候にも恵まれアサリ貝の大収穫。



1月20日 県酪連の代表団が上京され、議員会館を訪問。直面する諸問題に対する意見交換を行う。  
< 農水委員長室 >



2月9日 熱心にご支援いただいている「八代一水会」の方々との懇談。県内各地でこのような懇談会を順次計画していく予定。  
< 八代市内 >



6月10日 全国養鰻漁業協同組合連合会の記念すべき第1回総会にお招きいただく。安価な輸入養殖鰻が流通する中、国産養殖鰻の差別化に努力を重ねておられる皆様に敬意を表する。  
< 虎ノ門パストラル >



5月24日 三浦一水を囲む鹿本郡市女性の会として発足した「水の輪会」の総会に出席。女性の視点からの貴重なご意見も拝聴できた有意義な懇談会での記念写真。

< 山鹿市内 >



2月12日 国会審議で多忙を極める片山総務大臣(当時)と会談し、地方自治体の実情について訴える。写真は直後のスナップ。  
< 参議院内 >



6月19日 果樹対策の全国代表者集會に出席。果樹(みかん)の補填基準価格見直を目前に控え、産地からの切実な要望に耳を傾ける。

< マルヤサロン >

## < 国政報告会 >

今年も県内各所より多くの機会を頂戴し、国政報告を開催させて頂きました。皆様方から拝聴した、現場の切実なご意見・ご要請を真摯に受け止め、国政に反映してまいります。農政問題に限らず、お呼びいただきましたら可能な限りどこへでも参りますので、今後も是非ご要望ください。



7月31日 JA やつしろ女性部



3月1日 農政連球磨支部・青壮年部



2月8日 阿蘇土地改良区





2月16日 WTO ミニ閣僚会議が東京で開催され、各国代表と非公式会合を重ね、日本提案への賛同を求める。 < 帝国ホテル >



2月15日 集会終了後、銀座を通り東京駅までデモ行進。 < 銀座熊本館前 >

### < WTO 農業交渉 >

熊本県農業者の代表として、また自民党農林水産物貿易調査会事務局長として、WTO 農業交渉における日本提案の実現を目指し奔走した一年でした。

9月の閣僚会議（メキシコ・カンクン）では先進国と途上国との溝が埋まらず、議論は実質来年以降に持ち越しとなりましたが、我が国の主張について各国の理解が深まったことについては、大きな収穫であったと思っています。



9月10日～14日 WTO 閣僚会合に参加し、時の外務・経産・農水大臣（上写真）と連携を取りながら、自民党代表団の一員として、米国ジョンソン大使など各国代表（左写真）との国益をかけた交渉を行う < メキシコ・カンクン >



2月13日 農林水産関係団体代表の方々和小泉総理へ要請。 < 首相官邸 >



9月2日 JA 鹿本の役員研修に合流し、熊本県果実連の白州工場（山梨県）を視察。果実連の理事として、皆様を工場内へご案内。



12月9日 麻生総務大臣を訪問し、インターネットなどのIT関連基盤整備こそが、これからの地域活性化に欠かせない要因であると訴える。 < 総務大臣室 >



7月30日 参議院視察団を案内するため水俣市水害被災地を訪問（災害当日以来2度目）犠牲になられた皆様のご冥福を祈り、1日も早い復旧と再発防止に全力を尽くす決意を新たにす。



12月15日 中部国際空港建設現場を視察した後、進捗状況・問題点などについて懇談。 < 愛知県常滑市内 >



10月9日 世界遺産にも指定されている泰山で有名な中国山東省泰安市の市長以下訪日団と懇談。近い将来の訪問を約束し記念撮影。 < 議員会館ロビー >



8月19日 支部長を務める自民党山鹿支部の大会を開催。総会・国政県政報告・懇親会と成功裡に終了することができた。 < JA 鹿本 >



## < 参議院農林水産委員会 >

昨年8月から約1年間、参議院農林水産委員長として有明海・八代海再生特別措置法、トレーサビリティ法、食品安全基本法など、多くの重要法案の審議に加え、3回に及び国内視察と、国会開会中は農林水産委員会中心の毎日でした。



5月15日 委員会の皆様と家畜改良センター、畜産技術協会などを視察。< 栃木県内 >



2月27日 農林水産委員長として、北海道農民連盟の皆様からの要望書を受理。意見交換を行う。< 農水委員長室 >



11月27日 委員長退任後、初の農水委員会が開催され、前委員長としてお礼の挨拶を行う。< 農水委員会室 >



7月4日 通常国会において取り扱う農林水産関係法案のすべての審議を終了させ、お世話になった参議院関係スタッフとほっと一息。< 議員会館 >



6月12日 食糧法の一部改正案の審議では、各方面の専門家を参考人招き質疑。< 農水委員会室 >

### 【所感】都道府県議会議員選挙を終えて

四月四日告示、同十三日投票の「掲題」が終了した。我が熊本県でも五十五名の議員がまず選任された。我が国また熊本県として、本当に困難な時期ではあるが、めでたく当選された各議員の活躍を祈念したい。各位の任期四年は、私の残任期間四年四月とほぼ同じ時間にもなるわけだから、明るい豊かな熊本作りに大いに連携していきたい。

それにしては今回の選挙で各地の同志議員を応援し、中んずく自分の足元の同志候補を応援する中で感じたことがある。応援する者の気持ちである。あらためて様々の立場を乗り越えて応援・支援がなされていることを痛感した。私自身も自分の後援会に悪影響が出る懸念を周りの多くの方々に頂きながら、それでも立場をはつきりしながら支援を続けた。日々選挙事務所でのやり取りを見つめながら、また自身も参画しながら、応援する者の苦悩というのを見、実感した気がした。

自分が一年八月前、更に将来にも選挙に出させてもらう立場であることを思うと、今度は自分こそ支援頂く皆様の苦悩を考えると、いくらか感謝しても感謝しきれないものであることを感じた。

その方々の勝利をめざす気持ちの一つになつてはじめて結果につながっていくことも実感した。

そしてハンザイの時を迎えた。

自分が選挙に勝たせてもらった時に勝るとも劣らない「嬉しさ」を支援者の一人として感じる事が出来ることを実感した。

十一年も政治を経験させて頂いて、恥ずかしい気持ちを感じながらではあるが、あらためて様々なことを学ばせて頂いた二〇〇三年都道府県議会議員選挙であった。



4月13日、統一地方選の投票日。当確の情報に関係者全員が喜びを爆発させた瞬間。右記はその時の素直な気持ちを綴った所感。

### 自民党入党と党员継続のお願い

現在、三浦議員は自民党熊本県参議院選挙区第三支部の支部長を務めており、党员確保を目指しております。

自民党员として2年間以上継続していただきますと、自民党総裁選挙に投票出来ます。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

党費：年間4,000円

### 三浦一水 ご支援のお願い

個人後援会と政党支部の賛助会員を募集しています。多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

賛助会員：1万円/年(一口)

\* お申込み・お問い合わせは下記までお願い申し上げます。

### 三浦一水熊本事務所

〒862-0951 熊本県熊本市上水前寺2-40-6

TEL (096) 382-3737 FAX (096) 382-4300

E-mail: m.kumamoto@muc.biglobe.ne.jp



< 案内図 >